

本 あち 議会だより

2014年(平成26年)

第78号

4月18日発行



ドキドキわくわく 1ねんせい♪
(浪合小学校)

3月定例議会報告	2	ページ	から
2月臨時議会報告	5	ページ	
常任委員会から	6	ページ	から
政策検討委員会から	9	ページ	
一般質問(質問者9議員)	10	ページ	から
大雪による村内の被害	14	ページ	
議会への声	15	ページ	
議会の動き・あしがき	16	ページ	

3月定例議会報告

3月定例会は、11日から27日まで17日間の会期で行われました。

平成26年度一般会計及び各特別会計当初予算、平成25年度補正予算、条例の制定などの審議を行いました。

一般質問では、9人の議員がこれからの村政に対し質問・意見を述べました。

平成26年度当初予算を議決

一般会計 50億 700万円 (前年比-4.4%)
特別会計 21億 3,231万円 (前年比-1.6%)

歳入の内訳 (一般会計)

自主財源 (27.0%)		依存財源 (73.0%)	
村税	7億 965万円	地方交付税	25億3,300万円
使用料及び手数料	1億1,948万円	村債	3億6,080万円
繰入金	2億3,989万円	国庫補助金	2億9,975万円
分担金及び負担金	6,472万円	県支出金	3億 602万円
繰越金	3,000万円	その他	1億5,450万円
その他	1億8,919万円		

歳出の内訳 (一般会計)



各会計別当初予算額

会計名		26年度予算額	25年度予算額	比較
一般会計		50億 700万円	52億4,000万円	△2億3,300万円
特別会計	国民健康保険事業	6億7,183万円	6億7,102万円	81万円
	国民健康保険直診	8,990万円	9,558万円	△568万円
	水道事業	1億9,229万円	2億1,200万円	△1,971万円
	下水道事業	2億6,900万円	2億3,495万円	3,405万円
	農業集落排水事業	8,053万円	1億 348万円	△2,295万円
	介護保険	7億6,241万円	7億8,676万円	△2,435万円
	後期高齢者医療	6,635万円	6,219万円	416万円
合計		71億3,931万円	74億 598万円	△2億6,667万円

専決処分事項

◆平成25年度一般会計
補正予算(第6号)

・清内路小学校防火シ
ャッター改修工事
345万円

補正後の額は、81億
5,228万円になり
ました。

条例等

【議決した主な内容】

◆議会の議員の報酬及
び費用弁償等に関する
条例の改正
月額5%の減額を継
続するものです。

◆非常勤消防団員に係
る退職報奨金の支給に
関する条例の一部を改
正する条例の制定

工事請負契約

◆学校給食共同調理場
改築工事請負契約

・建築主体
請負金額
2億1,438万円

請負業者
吉川・小笠原特定建
設工事共同企業体

・電気設備
請負金額
5,829万円

請負業者
株式会社 石田電気
工事

・機械設備
請負金額
2億466万円

請負業者
シノダ設備・倉田設
備特定建設工事共同企
業体



新たに購入した消防ポンプ車両

◆防災会議条例の一部
を改正する条例の制定
◆災害対策本部条例の
一部を改正する条例の
制定
上位法改正に伴い改
めるものです。

◆阿智村情報化事業サ
ービス網設置条例の全
部改正
施行規則で定めてい
たものを条例化し業務
内容や徴収委託等を条
例に追加するものです。

◆飯田市との間におい
て締結した定住自立圏
形成協定の一部を変更
する協定を締結
圏域の医療機関で情
報共有化するための補
助を行うものです。

◆心身障害児就学指導
委員会の事務委託に関
する規約を廃止する規
約の制定
昭和52年に議決した
事務委託を西部地区3
村で共同処理するため
廃止することとしまし
た。

平成25年度補正予算

一般会計では、歳入で地方交付税1億5,010万円増額、歳出で除雪業務委託料2,300万円増額、公共施設整備基金積立金1,081万円増額、公債費1億451万円増額などの補正、また、下記すべての特別会計の補正予算について議決しました。

会計名		補正額	補正後の額
一	一般会計(第7号)	955万円	81億6,184万円
特別会計	国民健康保険事業(第3号)	△1,421万円	6億6,752万円
	国民健康保険直診(第3号)	△714万円	9,026万円
	水道事業(第3号)	△4,677万円	2億4,405万円
	下水道事業(第2号)	△723万円	2億3,670万円
	農業集落排水事業(第2号)	△422万円	1億1,457万円
	介護保険(第2号)	△4,499万円	7億4,407万円



座禅草

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

塚田宏子さん(駒場)、美濃部利昭さん(伍和)の推薦について全会一致で可決しました。

指定管理

◆もみじ平森林総合利用施設の指定管理者の指定

特定非営利法人 なみあい育遊会(代表 佐々木重義さん)を指定管理者とすることに全会一致で可決しました。

皆さんから出された請願

◆請願第7号
雇用の安定を求める意見書の提出に関する請願

結果、採択し意見書を関係機関へ送付しました。

◆請願第8号
介護保険制度見直しにあたり、誰もが安心して利用できる制度にするための意見書提出に関する請願

結果、閉会中の継続審査になりました。

議員提案による意見書

◆雇用の安定を求める意見書

趣旨

国民にとつて、働くことは、生活の糧を得るだけでなく、生きがいであり、憲法に保障された国民の権利であることから、雇用を安定させることは国の重大な責務の一つである。政府は、少子高齢化が進み人口が減少する中、日本経済を再生し、我が国の経済社会を持続可能なものとしていくための成長戦略において、人材こそが日本が世界に誇る最大の資源であるとの観点から、「世界トップレベルの雇用環境」を実現し、産業競争力を強化することとしている。この

ため、従来の日本的雇用システムを抜本的に変革し、柔軟で多様な働き方ができる社会、企業外でも能力を高め、適職に移動できる社会、全員参加により能力が発揮される社会を実現し、日本の強みとグローバル・スタンダードを兼ね備えた新たな日本の就業システムを目指している。

一方、いわゆる「ブラック企業」問題に象徴される長時間労働や過重労働などによる過労死が社会問題となっている中、労働者を保護するルールの一層の推進を求める声がある。よつて、国においては、雇用の安定を図るため、次の事項を実施するよう強く要請する。

1. 労働規制の緩和に当たつては、雇用の安定の観点に重点を置き、慎重な対応をすること。

2. 派遣労働者のキャリアアップや直接雇用の推進を図り、雇用の安定と処遇改善にむけた措置を講ずること。

3. 「ブラック企業」に対する実効性ある対策を講じるとともに、学校における職業教育、進路指導、職業相談等の就労支援を拡充すること。

4. 過労死防止対策を総合的に推進すること。
5. 成長分野の産業育成を図り雇用を創出すること。



福寿草

◆集团的自衛権に関する憲法解釈を変更しないことをもとめる意見書

趣旨

集团的自衛権について、これまで歴代政府は、「国際法上、当然に集团的自衛権を有しているが、これを行使して、わが国が直接攻撃されていなくてもかわらず他国に加えられた武力攻撃を武力で阻止することは、憲法第9条のもとで許容される実力の行使の範囲を超えるものであり、許されない。」としてきました。

ところが、現在、安倍内閣のもと、集团的自衛権の行使を憲法解釈の変更によつて容認しようとする動きが急速に強まっています。しかし、国の安全保障政策は、立憲主義に基づき、憲法前文と第

9条に基づいて策定されることは当然のことであり、集团的自衛権の行使については、その時々々の政府の判断で閣議決定により解釈を変更することは、あつてはならないことです。とりわけ集团的自衛権をめぐる議論は、これまで国会においても積み重ねられてきており、さらに広く国民を巻き込んだ議論が必要などころです。これら無しして強引に解釈を変えようとするのは、国会答弁等、国会のあり方をも形骸化させるものと言わざるを得ません。

したがつて、国におかれては、集团的自衛権に関するこれまでの政府見解を堅持し、集团的自衛権の行使につながる憲法解釈の変更を行わないよう強く要望します。

◆損害賠償の額を定めることについて
2件の損害賠償について報告がありました。

結果、2件とも採択し関係機関へ意見書を提出しました。

2月臨時会 報告

2月17日に開催された。次の事項を議決しました。

◆公共土木施設災害復旧工事請負契約の締結
請負金額
1億153万円

請負業者
南信土木建築有限会社

◆副村長の選任
山内常弘氏(駒場)を副村長に選任することに同意しました。

◆損害賠償の額を定めることについて
2件の損害賠償について報告がありました。

総務常任委員会報告

3月定例会に関わる
委員会審議の主な内容

平成26年度一般会計予
算について

☆歳入

Q 村債で、前年度予算より約4億円の減額となつている内容は。

A 防災無線の工事を村債で行つており、その分が減つたため。

Q 雑入の保険料の内容は。

A 指定管理施設、自治会館、社協等で、村が契約し、各施設より納入して貰う。中関下や伍和高齢者生きがいセンターは、年度毎に村と地元の利用率で按分し清算している。

Q 村営住宅で火災が発生したが、入居者に負担を求めめるのか。

A 村営住宅の建物については火災共済機構に加入している。保険

対象内なら負担はないが、対象外が生じた場合は当事者との話し合いとなる。家財道具等については現在の保険は対象外のため、今後は入居者に加入を促すなど検討したい。

☆歳出

Q 子育て支援事業で25年度より臨床心理士を配置したが、その効果や状況は如何か。

A 現在、保育園と学校に各1名ずつ配置している。保育園や学校で保護者との意思疎通が心理士が間に入ることににより、相談内容や助言が、良くなりつつある。新年度は、支援室も含め3者で課題の共有化を図り、情報交換も充分行つてゆく。

Q 学童保育事業で、保護者の負担金が増額されるが内容と周知はどのようにされるか。

A 登録時の年会費が

2,000円を2,500円に、通年利用料を毎月1,900円から3,000円とし、教材費等を含め、年間で44,000円を50,500円とする。それに伴い長期休みの利用も値上げとする。登録時に事業内容の変更があることは伝えてあるが、早い時期に説明したい。

負担金については、2年間据え置いてきたが、利用者が増え職員の増員も行い、人件費が増えている。利用者の家庭支援にもなっており、事業効果を一緒に考えて頂く意味もある。

Q 図書室を図書館に移行する考えはあるか。

A 図書館は、図書館法に基づいて運営される。当村でも司書を置き、図書館に近い運営を行つてはいるが、図書館と図書室では、相互間で総合貸借できないため、26年度中の早い

時期に準備を行い、図書館への移行を進める。

Q 脳卒中予防事業で39歳以下の方々への眼底検査の内容、また現在行つている一般検診の結果状況は。

A 眼底検査は、目の中の血管を写す検査で動脈硬化の進行状態を調べます。また、一般検診の結果を見ると、30歳までの方々の高脂血、糖尿、尿酸の値が高いことが判明しており、健康管理と受診の啓蒙を進めます。

Q トリプルAサポート事業が浸透し、実績も拡大している。回数を増やす予定は。

A できれば月2回は運動をして頂くことが理想。要望や状況を見ながら対応する。

Q 水中運動教室は、健康の維持増進に大変良い事業であるが、利用者が増えない実態もある。対応策は。

A 高齢者クラブの方々を、送迎しての体験、またセットで食事をつける等、積極的に進めたい。

Q 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特別給付金事業の内容は。

A 両事業とも、4月からの消費税引き上げに対して、低所得者への負担補填の事業で、実施主体は市町村、財源は100%国の補助金の事業です。根拠は、食料品の消費税アップ額の1年半分とし、約1万円となる。臨時福祉給付金は、村民税が非課税の方が対象で、老齢基礎年金、児童扶養手当受給者は一人につき5千円加算される。

子育て世帯臨時特別給付金は、児童手当を受給している子どもが対象で、一人につき1万円の支給。両方重複しての支給はされず、実施は6月以降となる。

Q 巡回バスの経路や時間については変更があるか。

A 要望のある地域への検討は行っている。満蒙開拓記念館への巡回は実施する。デマンド方式、新たにモデル的に取り組む福祉移動サービスの状況も見て効果的な運営を研究して行く。

Q 集落維持活動支援事業の、対象13集落へ周知はされているのか。

A 行政懇談会では話しているが、直接は伝えていないので、今後は行う。この制度は、条件が解消されても、見なし集落とし、5年間は交付対象とする。

Q 村づくり委員会が現在63団体ある。中には休止中の所もあると思うが、活動実態を精査し、マンネリにならないよう指示することもあるか。

A 休会中は5団体、

25年度に予算執行した団体は15団体。活動状況を精査し対応する。

平成26年度国民健康保険事業特別会計予算について

Q 国保税の未納者の状況は。

A 今年度、税率を上げさせて頂いた影響もあるのか、昨年の同時期に比べ0.5%程、滞納率が増えている。国保税は、一年以上未納の場合、保険証が短期証となります。

Q 近い将来基金が底をつく状況である。どのように捉えているか。

A 税率を15%に上げさせて頂いたが、26年度も基金の取り崩しは想定され、28年度には基金がなくなる状況です。国の新たな方針や他の町村の動向も把握し、医療費の削減対策を講じ、早めに国保運

営審議会に諮る。

平成26年度介護保険特別会計予算について

Q 第6期が27年度から始まる。保険料基準額が示されるのは何時頃か。

A 現在、県下で2番目に高い保険料だが、傾向とすると、居宅サービス・ホームヘルプ・デイサービス部分の利用者が減ってきている現状です。国の方針も踏まえ策定委員会等で検討し、27年の2月には額の提案をする。

一般会計補正予算(第6号)について

26年度予算案、清内路小学校の防火シャッター改修工事を、安全面から早急の取り替えが必要であると判断し、25年度補正での対応を要請し、可決した。

産業建設常任委員会報告

3月定例会に関わる委員会審議の主な内容

Q 健康の森公園整備事業の状況は。

A この事業は清内路経済活動拠点施設の周辺整備で、駐車場の整備、葉草園の整備に関わるものです。健康の森公園整備事業については、村民の皆様から心配の声が上がっています。しかし、昨年より、長野県から「集落

「再熟」実施モデル」として清内路地区が選定され、山取り花木・葉草・伝統野菜などの地域資源を活用した新しい産業の研究を支援

するために、今年300万円が交付されます。このモデル事業と健康の森公園整備は関連のある事業であり、このモデル事業の成功と地域の活性化を図ります。自治会が積極的

に関わり観光ガイド、食堂、直売所を利用したイベント等のソフト事業の充実に取り組みます。

Q 一般廃棄物最終処分場設置調査の内容は。

A 26年2月まで焼却灰、ガラス等の廃棄物は小諸の業者に委託していましたが、4月からは三重県の業者に委託することになりました。これらの廃棄物を受け入れる業者が少なく不安定な状況が続きます。飯伊で処分場のない町村は3カ村

となつていきます。備中原の県の処分場計画は見通しが立たないため、自前の処分場設置に向けての調査が必要になりました。

現在南信州広域連合において、次期ゴミ処理施設の計画が進められておりますが、阿智村が予定している処分

場計画を、広域連合に
関係する施設として位
置づけるならば、建設
に関わる事務作業が大
幅に削減できることに
なり、広域連合に関わ
る施設と一緒に計画を
すすめることにしまし
た。用地の選定につい
ては、26年度中に決め
ていきます。

Q 産業振興公社事務
所の移転計画は。

A 現在産業振興公社
の事務所はJ A阿智支
所の一角を使用させて
頂いていますが、J A
の事業拡張により、振
興公社の事務所の移転
が必要となりました。
村では、農産物の直売
所、道の駅構想の話題
が浮上しており、その
施設との整合性も検討
しましたが、多くの課
題があり、リニアの残
土処理の問題もあり、
今すぐ直売所の建設に
取り組むことは困難で

あるとの結論に達しま
した。そこで、駒場保
育所の跡地に産業振興
公社の事務所と農産物
集出荷場所の整備をす
ることにしました。

Q 新規就農者支援金
貸付事業の考え方は。

A 村には新規就農者
のうちUターン者に年
120万円、Uターン
者に年60万円を最大で
3年間貸し付ける支援
資金貸付制度があるが、
農業施設、農機具等の
資金が必要となるので、
Uターン者もUターン
者と同じく120万円
に引き上げてはどうか
との意見が産業振興協
議会より出されました。

この制度は、国の新
規就農者支援事業（年
間150万円を5年間
給付）の対象とならな
い人の救済制度の意味
合いがあり、国の制度
は給付金であり、有利
な制度なので優先的に

使っていた。だき、施設
整備、農機具等の購入
については新規就農者
支援資金利子補給制度
を活用していただきた
いと思います。新規就
農者の支援については
根本的な課題があると
認識しています。当面
26年度は現状のままに
して、至急検討をす
めます。

Q 銀河もみじキャン
プ場シャワー等設置工
事及び管理委託料の内
容は。

A 銀河もみじは浪合
村当時キャンプ場とし
て治部坂高原とともに
浪合観光の中心施設と
して整備しました。

平成18年環境省から
日本で特に美しい星空
が見られる場所として
認定されました。昨年
へブンスそのほらでス
ターウォッチ（星空観
察）のイベントを開催
したところ多くの観光

客が訪れ、阿智村の観
光資源として脚光を浴
びました。「銀河もみじ」
を日本で美しい星空が
見えるキャンプ場とし
て再整備し、へブンス
そのほらと共にスター
ウォッチを阿智村の観
光資源として地域の活
力に生かしていきます。

Q 観光協会補助金の
あり方は。

A 村民の皆さんから
観光協会とエリアサポ
ートは事業の共通性が

あるにも拘らず別々の
補助金では分かりにく
く、補助金の有効活用
の面からも一本化でき
ないかとの意見が出さ
れておりました。こう
した意見を考慮して、
阿智村の観光、昼神の
観光に責任を持てる新
たな観光組織が設立さ
れることを期待して一
本化としました。

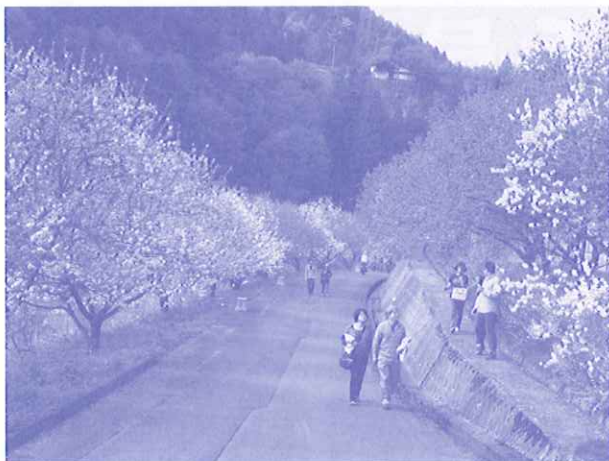
また、補助金の要望
について、観光協会、
エリアサポートから25
年度の当初予算、補正

予算を含んだ実績に近
い予算要求が出されま
したが、議会の要望を
考慮し、25年度の当初
予算を基本にすること、
25年度に行った補正予
算事業及び26年度の事
業を充分精査すること
としました。

Q 阿智開発公社事業
の今後は。

A 開発公社は主な事
業として、21世紀プロ
ジェクトを中心とする
地域開発・調査・研究
事業と、「湯つたりく
な昼神」等の指定管理
施設の運営を行ってい
ます。

「湯つたりくな」は
経営が厳しくなり村か
らの補助金が大きく膨
らんで来ています。運
営が半官半民の状態
あり、公社とともに経
営悪化の原因究明をし
今後のあり方を検討し
ます。



花 桃

政策検討委員会報告

2月6日の政策検討委員会にて、政策課題の抽出と分科会の構成員を決め、その後分科会毎に分かれ、課題の研究内容について検討がされました。

3月の政策検討委員会は、分科会毎で行われています。

産業分科会

リーダー 田中里司
サブ 林 清子

阿智村は農業を基盤産業ととらえ、多方面から農業を支援する施策を展開している。地道な活動が少しずつ効果を上げているが、農業者の高齢化、担い手不足、有害鳥獣の被害等、農業を取り巻く現状は厳しく、抜本的対策というところまでは到っていない。そこで、近年注目されている6次産業化に焦点をあて、

生産、加工、販売を一貫して手がけることにより、特産品開発、農家の収入アップ等、魅力ある農業を模索していきたい。よって、荒地の減少、担い手の確保につながるのではと考えます。また、高齢者が生涯現役で生き生きと暮らせるような就労の場としての農業のあり方も考えていきたい。

福祉分科会

リーダー 原 一広
サブ 高坂和男

阿智村の高齢化率は、平成26年3月1日現在で31・59%と上昇しているなか、高齢者のみの世帯が増えていて、老々介護のケースなどにみられる様々な困難に直面している現実があります。

こうした状況下での、

高齢者が抱えている暮らしや住環境の不安についてと、これから想定される不安要素の学習をした後に、住みなれた地域で暮らし続けるための住まいのあり方について研究を進めます。

現在ピックアップされている項目としては

- ① どんな住み方・暮らし方が考えられるか
- ② 制度を利用した住居はなにか
- ③ 高齢者が心休まる生活環境とはなにか
- ④ 自宅介護と集合住宅介護の併用的利用について

⑤ 阿智村が必要とする高齢者の住まいのあり方

- ⑥ 高齢孤独生活者の支援策について
- ⑦ コレクティブハウスにみられる若年者家族との交流がある住まいのあり方

などですが、今後学

習を進めるなかで、研究項目の絞り込みをします。

定住促進分科会

リーダー 熊谷義文
サブ 吉田哲也

1 全国的に少子高齢化が進み、人口の減少が進んでいる。当村でも例外ではなく、年間に100人近くが減少している現実がある。

この問題の中で、どのような施策が必要か意見交換を行った。

・「住んでよし、訪れてよし」↓「持続可能な村づくり」この大きな目標があるが、まず

住んでよしを目指す必要がある。住民が心豊かに、誇りを持って暮らしている村なら、他からも魅力的に感じてもらえるはずである。

・保育園から高校まである村はそうはない。

これを活かして充実した教育の村づくりを進める。

・企業誘致はなかなか難しいが、この部分は飯田市を中心に広域で進め、阿智に住んでもらう体制づくりを進める。

・昼神温泉を中心とした、観光施設も大きな雇用の場である。この部分で、若い人たちが働きたくなる(働ける)環境づくりも必要。

・目標を設定する。
「10年後も人口6千人の維持」

2 右記のような意見の中で今後の進め方を検討し、関係団体との懇談会と現在行っている定住促進施策や支援施策の検討を進めていくこととした。

3 次回は、このような人口減の中で逆に人口が増えている町村を探し、視察することとした。(南箕輪村等)



広域行政への取り組みについて

【質問】 村長選に心を動かされたものは何か。

【村長】 大好きな阿智村の為に私が村政に係わることで若い世代の皆さんも一緒に良いい村づくりを行いたい。

【質問】 10年後の南信州広域における阿智村の位置づけと役割は。

【村長】 平成23年度の飯伊の観光消費額は103億円で、その内阿智村は54億円で約52%を占めており経済活力の最大のポテンシャルを占めております。

広域連合でしっかりと連携を取り合い、昼神を核に南信州全体に経済が循環する仕組み

を確立したい。

【質問】 リニアがこの地域にどのような効果をもたらされ、どのような村を目指していくのか。

【村長】 JR東海の試算では、飯田駅に1日7,000人の乗降が予定され、1年間に2,000億円の経済効果があるといわれています。昼神を核とした滞在・体験型の拠点が各地域に点在して南信州全体の経済が循環する仕組みを確立したい。

村は東山道から富士見台一帯の山岳観光と星空をセットに全国からの誘客と阿智村に住んでいただくための政策やビジョンを考える。

【質問】 山本インター付近を中心とした飯田市と協同開発の考えは。

【村長】 三遠南信自動車道は物流の道として飯伊の経済活動に大いに期待ができます。

山本インター周辺の整備は重要であり飯田市・広域連合とも連携をとって開発を進めたい。

【質問】 七久里から飯田市箱川に通じる道は飯田市の管理道路ですが、道路沿いには阿智村関係の企業がありま

す。現在の道路は狭隘であり一部の財政負担を担ってでもあの道路改良を飯田市にお願いして積極的に進めていただきたい。

【村長】 気がかりな道路ではありますが、あの一帯は開発の可能性のある地域と考えています。しかし、飯田市の土地なのであまり深くは言えませんが、広域連携の一つとして飯田市と阿智村が互いに発展し南信州全体が良い形で発展することが大切と思われるので地域開発の提案をしていきたい。



これからの行政サービス

【質問】 初登庁の第一印象は？

【村長】 初登庁して3日目の大雪と5日目の住宅火災から、住民の安全な暮らしと行政の関わり方を考えさせられた。また、住民にとって居心地の良い空間が役場に欲しいなどだ。

【質問】 行政サービスをどう考えるか？

【村長】 村は他の町村と比べて行政サービスは充実している。住民が主体的に活動し、村はそれを支えアドバイスや良い事例を紹介すること。また、来庁者の気持ちになって対応することなどと思う。

【質問】 どの町村も健康や教育に同様に取

り組むが結果に大きな差が出る。村では健診や治療に手厚い補助等をしていくが成果が低い。成果を上げるには若い職員を育て、適切な情報とメッセージの発信が必要だ。大雪の際も情報の提供不足だったが？

【村長】 人を育てることとは大切で、もつと子供の教育に力を入れ、若い職員を育てたい。また、大雪の時に正確な情報の提供が必要だった。今後は広報などでもっと積極的に情報発信したい。

災害の復旧

【質問】 9月に防災を意識した山林整備の必要性を指摘した。専門家を交えての災害原因の検証は？

【今久留主ふるさと整

【備課長】 専門家の都合が付かず検証してないが、職員が一部は現地に行き検証した。大量の雨で土砂が流れ出たのが原因で、ヘリで見え限り山腹崩壊は起きていないようだ。

【質問】 黒羽沢の林道は荒れ放題になっていった。被災したが復旧計画に入っていないが？

【課長】 公共災害の要件を満たさず外れたが、26年度に村で復旧する。

軽油引取税

【質問】 トラクター等で使う軽油は、地方事務所に申請し1リットル32円の税金分を安く買える。この制度を知らない方が多いので、説明会を開いては？

【課長】 良い制度なので広報などで紹介したい。ただし、購入と使用の記録が必要です。

住民主体の村政

【質問】 住民主体で村政を進めることが当然なこととは言うまでもないのだが、選挙で委ねられた立場にある村長のその運用次第では、住民に対する「丸投げ」とも映りかねない心配もある。手間もかかり分かりづらくなる時もあるが、住民との息の長い議論の積み重ねしかないと思うがいかがか。



【村長】 一人ひとりが輝く村づくりをモットーに様々な場へ出向いて多くの声を聞きたい。職員にも住民からよく頼られるような研鑽を積んでもらう。豪雪への対処から住民各位の

自治の姿を学んだ。

【質問】 職員は住民に対し謙虚で良き相談役であるべきだが、住民をお客にすべきでない。【村長】 住民はお客様ではない。だが来庁者に対し、その道のプロらしい対応は大切だ。

周辺部への対応

【質問】 浪合、智里西、清内路など周辺部への力の入れようは。

【村長】 各々の地区が独自の特色を出すことで役割分担し、村が活気づく。定住支援、空き家対策等で意欲ある

地域には力を注ぎたい。【質問】 各々にある保育園、小学校、振興室の存続への思いは。

【村長】 児童の減少対策は一層考えつつ現時点では残す方向で地域と議論しながら進めたい。振興室も地域と相談しながらその存続を考えていきたい。

リニア工事対策

【質問】 リニアの環境影響準備書に対する当議会の意見、また当時の村長意見を、住民の安全、安心の面からどう受け止めるか。

【村長】 代替ルートを求める内容であり思いは同じ。南信州広域連合を通じてJR東海と交渉したい。他町村からの残土運搬もできるだけ村内国道を通さないように交渉する。

【質問】 国道256号線から黒川沿いの村道は運搬車輛通行はまず不可能な現状。国道通行による昼神温泉郷への悪影響は計り知れない。代替ルートはぜひとも実現させてほしい。

【村長】 悪影響への危機感をもっている。飯田市等と連携をとり代替ルート等の要望事項をとりまとめて対処したい。

平成26年度予算について

① 歯科検診について

【質問】 26年度の新規事業として大人の歯科検診が計画されている。これは30歳から10歳間隔で70歳までの人に歯科検診を無料で受けてもらう事業と聞いているが、目的と内容は。

【近藤民生課長】 歯科検診を実施することにより、虫歯や歯周病を早期に発見し、口腔内の健康を保ち全身の健康を守ることが目的。役場から受診券の交付を受け歯科医で受診し歯科医師会から村に報告をもらう仕組み。

【要望】 このことが歯

の健康に関心を持つきっかけになればと期待している。また結果を見て今後は5年間隔での実施をお願いしたい。

② 介護保険について

【質問】 昨年9月の一般質問でもお尋ねしたが、村の施設のデイサービスの利用率が低いので、特徴あるサービ

スをするためにリハビリ器具の導入について支援していただけないか。

【村長】 関係の機関の方たちと相談の上考えていきたい。

③ 防災について

【質問】 村内に避難場所が17箇所設置されている。第一小体育館、阿智中学校隣に防災倉庫が設置されている。また26年度、駒場保育園跡地と商工会館隣に設置される予定だがほかの地区の防災倉庫は

いつ完了するか。【牛山総務課長】 25年度予算で駒場、26年は智里東、商工会、残りもこの2、3年で設置予定。

④ 日赤について

【質問】 炊き出しの際の日赤の立ち位置は。

【民生課長】 部落単位の火災については、部落長と給食給水班長、日赤班長が炊き出しを行うか決めることになっている。方法は、集会所の用具を使うか、個人の用具を使うか。

台風などの広範囲の災害の時は、次のようにしていた。【質問】 日赤の委員長は会地、伍和、智里浪合から1人ずつ3名選出されている。部落ごとの班長理事が地区の正副委員長と連絡をとり、正副委員長が村と協議して炊き出しの決定を行う。

一般質問

原利正議員

一般質問

林清子議員



健康寿命と温泉の活用について

【質問】平成24年度の国民の医療費と介護費の総額は、国の税収入の50兆円に達し、平成37年には国家予算の100兆円にも達しようとしています。今の医療と介護にメスを入れて根本的な対策を築かなければ日本の財政は崩壊してしまう。国が崩壊すると地方も同様で国民はすべて自分で対応しなければならなくなる。戦後、日本が選択した西洋医学の原点は「病気になったら治す」その西洋医学のすべてが悪いというのではなく、東洋医療も採用して病人を減ら

す、健康人口を増やす事に力を入れる必要がある。長い間の西洋医療が続き、薬で健康を造っているような間違った認識を持つてしま

の低迷で観光業の衰退。昼神温泉でも多くの旅館業などの倒産や廃業の中で、再び活路を見出すには温泉に付加価値をつけて、健康温泉へと切り替えていく。

諸外国に比較しての薬の使用量は15倍も多い。薬は体内に入ると蓄積される。蓄積されるのは他にも食品添加物を始め農薬など数えきれない程あるが、体内に入ると体内異物となつて、なかなか排出されない。それが原因でさらに病気や介護人口を増やしている。体内異物は排出する以外に健康寿命を延ばすことはできない。排出するのに効果があるのが温泉浴で温泉浴が脚光を浴び始めている。

阿智村では昼神温泉を核とした、観光をブラットホームとした地域づくりに取り組んでいるが、長い間の景気



全村博物館構想

【質問】全村博物館の歩みと進捗状況は。

【村長】平成17年構想が始まり20年に第五次

総合計画の目標として掲げ21年2月の社教研では8団体から地域資源の発表があり、8月には全国社教研も開催されました。あつちち熱中人連合で地域資源の活用を重視し、阿智学会を発足し研究内容を広めるため阿智ジャーナルを発刊して、村民の方々には全村博物館の浸透・理解の参考になつていと思つています。22年には関連各団体の連携を取るため阿智全村博物館連絡会を立ち上げ、東山

道・中馬・清内路・下条街道等歩道ウォークイベントが年々盛んになり、23年には全国エコミュージアムが阿智で開催され、村内の各資源を村内外の方々に紹介できました。また中馬街道等に看板も設置しました。25年度は全村博物館協会立ち上げ準備を行い、後期五ヶ年計画の中で「見える化」等全村博物館前進のため全村博物館協会の内容等検討をしているところだす。

全村博物館を基本理念に据え、具体的には皆様が主体的に守り活用してきた地域資源を認定し、地域作りの核とすべく認定地域資源制度を作る等、多岐に渡る重要な施策の位置づけです。準備委員会等で詳細等を検討し構築してまいります。

【質問】自然を大切に就業意欲を失わせない郷土の復旧整備とは。

【今久留主ふるさと整備課長】災害復旧には県と村の事業があります。今回は災害復旧と砂防・治山工事の両事業であり、田園風景の中にコンクリート工法での整備は国の査定官も強度面がクリアでき、自然に配慮できる工法があれば用いるべきと言っております。村もその観点から検討しましたが、現時点では止むを得ないと思

デジタル無線、 観光と村作り等

【質問】 防災無線デジタル化について、音声が明瞭に聞こえない、雑音が入る等の声が聞こえてくるが。

【牛山総務課長】 放送がうまく聞こえない件は調査対応中。各家庭に入りアンテナや機械の設定を調整し、明瞭に受信できるようにする。聞こえが悪い場合は役場担当者に連絡いただければ個別に対応する。そうした支援も含め、夏までに事業完了予定。



【質問】 村内にはラジオ受信不可能地区がある。災害時には無線からこまめで詳細な情報

が必要という声がある。どう考えるか。

【総務課長】 適切な放送をしたい。住民の方には広報説明の折等にぜひご意見をいただきたい。

【質問】 各自治会単位での放送は可能か。

【総務課長】 役場発になるが可能。各振興室発の放送について、技術的には可能だがシステム構築等経費がかかるので今後検討したい。

【質問】 阿智村の着地型観光開発の現状と課題についてどう考えるか。

【村長】 エリア主催の半日バスツアーはほぼ毎日運行。コースも多彩で好評とのこと。食事などで地元にお金が落ちている。リニア以後を見据え、村各地域に自然や文化を生かした核となる魅力的な観光資源をつくり、さらに活発にしたい。

【質問】 住み良い所が

訪れたい所になるという「観光をプラットフォームにしたい村づくり」

【村長】 その通り。全村博や教育と連携し、住民が阿智村に自信を持てるようにしたい。

【質問】 おもてなし研修や農産物の昼神温泉提供のマッチング対応等はどのような状況か。

【山内副村長】 おもてなし研修は現場と検討して各旅館で対応している。マッチングに関しては、需要と供給のアンバランスさが課題で克服に至っていない。

【質問】 村長公約の、「こどもたちに夢のある村」とは。

【村長】 村の素晴らしさを知る教育をしたい。働く場所づくりに取り組む。地域で子育て・教育ができ、そんな地域を形成できる取り組みをしたい。婚活にも力を入れる。

定住促進に向けた、 子育て世帯への支援 対応と今後の考 え方について

【質問】 昨年「住んでよし、訪れてよし」という具体的な取り組みを進めている。定住促進という観点からは

まず「住んでよし、住みたい」を考える必要があると考えるが、新

村長は、子育て中の親ということも踏まえ、現在の支援についてどのように感じているか。

【村長】 同世代の方々の意見を聞きながら検討したい。若者定住支援の過去の実績を見ると、支援策を講じたこの10年間で、2億2千万円の投資はあったが、

121名の転入者もあった。「住みたいが働く場所がない」という声もあり、情報発信や婚活の充実、産業の活性化、雇用の場の確保等考えたい。

【質問】 子育て支援の一つである未満児の預かりについて、近年増える傾向があるようだが、その実態と受け入れ基準は。

【佐々木教育長】 受け入れ基準は、児童福祉法に基づいて、家庭で見られない理由がある、養育が困難というよう

な方が対象となる。現在、未満児保育数は3園で53名です。

【質問】 26年度に1歳児の受け入れが、17、18名と聞いている。施設や職員の体制は。また、このように多くの家庭が預けるとい

で、両親とも働きに出なくてはならないということが、大きな要因と考える。実際に53名中42名が、預ける理由としている。施設、特にあふち保育園においては、国の基準により

面積的にはクリアしており、職員体制も「手厚く見る」ことを考え、その都度増やしている。

【質問】 県の教育委員会から「孤食」の調査の結果が発表された。当村ではどうだったか。

【教育長】 小学5年生で2・6%、中学2年生で8・2%県より良い数字が出ている。

【質問】 企業誘致等は飯田市を中心とした広域でも検討されたい。村内では、昼神を中心とした観光職場に村内の方が就職できる環境づくりも必要では。

一般質問

吉田哲也議員

一般質問

熊谷義文議員



台風18号による
災害現場の復旧の
進め方について

【質問】 農地に関わる災害について説明願います。

【今久留主ふるさと整備課長】 国の補助金を受けられる災害箇所は、水田76工区、畑15工区、井水49工区、農道では2カ所です。

【質問】 復旧工事の優先順位や工程表作成をどのような観点で進めてきたのか。

【ふるさと整備課長】

26年度の作付けができて、農業の生産意欲を損なわないように、田畑の復旧を優先させてきました。井水は、工事に時間を要するため、

仮設パイプによる水の供給ができるように指示してあります。

【質問】 予定した工期に対しての進捗率は。

【ふるさと整備課長】

現状では、工程どおり進んでいない。4月中旬に工事が完了する見込みは、全体の40%位です。

【質問】 予定が遅れている理由とこれからの進め方については。

【ふるさと整備課長】

2月の大雪により業者は、村民の日常生活を確保するために2月末まで除雪作業を優先せざるを得なかった事と積雪により現場に近づけなかったなどです。

今後の進め方は、業者が、これからの工程や施工方法を個々の所有者に連絡を取り、相談を進めています。これらの結果により、工事の順番やスケジュールを決めていきたい。

【質問】 所有者が調整を望む場合は、どこが窓口となるのか。

【ふるさと整備課長】

工事の内容については業者に担わせるが、作付けなどの相談は役場が受けて調整をしたい。

【質問】 工事の順番が住民の声により前後することがあるのか。

【ふるさと整備課長】

基本的には、近い工事箇所を離れて他に行くことは考えられない。業者に聞いてみたが、うちを先にやれと言われても予定した順番でやっている。

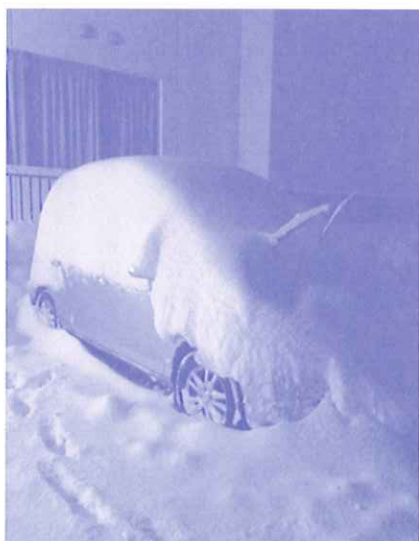
【質問】 工事が安全に進むことを願うものですが、いかがですか。

【村長】 甚大な被害を

目の当たりにして一刻も早い対応が必要と感じた。私の政策である「安心・安全の村」には、最優先に取り組んでいきたい。

2月の大雪による村内の被害について

2月8～9日、14～15日の2週にわたり記録的な降雪がありました。この大雪により、県道が一時通行止めになったり、各地区で農業用ビニールハウスが倒壊する等村内に大きな被害をもたらしました。農業用ビニールハウス被害（生産施設等被害、しいたけを除く）は、村内では90棟、約4,900万円、県内では13,336棟、約85億円の被害がありました。



車に降り積もった雪
(中央公民館)



雪の重さで壊れたベンチの屋根
(運動公園わいWai)

議会への声



窓

春の芽吹き、若い新熊谷村長の誕生です。村政も若い人達の芽がでるのかな……。期待は大きい、これからの村政の一点かな……。

村の歴史を忘れることなかれと、古老は語る。心豊かに誰しもが安全・安心で住んでみたいこの村「あち」。

新村長も、前岡庭村長の施策を継承すると言われる。この土台は住民自治が底流にある。議員も一年経過した。住民の声と議会活動、それは情報の共有である。

村政も問題山積みです。3月議会、新村長の施策第一声が始まる。財政・観光・教育・健

康福祉等々をはじめ、

昨年の凍霜害、災害復旧、各事業と生活の基盤にたつ諸施策である。

アベノミクスも私達の生活にあまり期待できない。自治と地域経済をしっかりとした土台づくり。

今日も吹く緑の風、

この自然を次世代へ……。住んでよかったこの村のイヤサカを、新しい村づくり、地域づくりへ……。

下郷 塚田順二



人口600名の区を切った浪合地区の公民館長として、この春で4年目を迎えます。中学生がバスで阿智中学に通うのを見る度、浪合村がなくなつたのだと実感しています。村役場が

振興室と名を変え、わずか数名の職員が区切られた室内で執務し、図書館は利用者が少なく、中学校棟はシャッターで閉ざされた日が

多くなりました。もつと多くの人が利用する活きた建物であつてほしいと日々願つています。

昨年、恩田の旧施設に何年も置かれたままの古民具を、公民館や自治会の方々とともに見直し、美濃加茂市や近隣の史料館を見学に行つてきました。その後「手づくり会」

を立ち上げて布ぞうり作りの講習会を開いたところ、20代から80代まで24名の参加者が集まりました。浪合小学校の青雲の間で、とても楽しい一日でした。

公民館で毎月発行している「なみあいがつこう」に「古老に学ぶ」という記事を書き始めて9回目になります。

40年前に元浪合塩沢村長に依頼され、80代の方々から聞き取りをしたノートがその題材です。浪合の貴重な生活や文化の歴史が消え去ることを心配された村長が、大阪から浪合に嫁いだばかりの私に聞き取りを任せてくださったのですが、当時の私にはその大切さの認識が足りず、もつと丁寧に向つておけばよかったと今になって悔やまれます。

星空日本一、山紫水明の地「浪合」がこれからもお互いに助け合い、平和に暮らせる地域であることが私の願いです。「地域活性化」という言葉からは遠い浪合かもしれないが、公民館がその一助となれば何よりです。

議会で私たちの思いを汲み取つて、村政に反映していただきますよう期待しております。

浪合中下町
山口美智子



議会の動き

1月

- 9日・広報委員会
- 12日・消防団出初式
- 14日・広域総務委員会
- 15日・郡議長会総会
- 20日・総務常任委員会
・産業建設常任委員会
- 24日・阿智村商工会新春講演会
- 25日・沖縄産業まつり
- 27日・議会全員協議会
・政策検討委員会
- 29日・観光関係者との懇談会（産業建設常任委員会）
- 31日・議長、正副委員長研修会（安曇野）
- 5日・広域議会全員協議会
- 6日・政策検討委員会
・合同審査会
・議会全員協議会
・リニア・三遠南信道期成同盟総会
- 7日・西部議員会評議会
- 9日・社会教育研究会
- 13日・議会運営委員会
- 17日・議会臨時会
・議会全員協議会
- 19日・総務常任委員会
- 20日・広域連合議会
- 21日・産業建設常任委員会
- 24日・総務常任委員会
・産業建設常任委員会
・議会全員協議会

4日・開発公社理事・評議員会

2月

- 1日・信州地域づくりフォーラム
- 7日・西部衛生施設組合議会
- 9日・政策検討委員会
・産業分科会
・福祉分科会
・教育分科会
- 13日・議会全員協議会
・観光関係者との懇談会
- 11日・議会運営委員会
・議会定例会
- 14日・広域消防本部指令施設竣工式
- 15日・小学校卒業式
・通年合宿センター修園式
- 16日・消防団年度末総会
- 17日・産業建設常任委員会
- 18日・中学校卒業式
・スタービレッジ運営協議会総会
- 19日・総務常任委員会
- 20日・議会全員協議会
・広報委員会
- 24日・保育園修了式
- 25日・議会定例会
（一般質問）

3月

- 1日・信州地域づくりフォーラム
- 7日・西部衛生施設組合議会
- 9日・政策検討委員会
・産業分科会
・福祉分科会
・教育分科会
- 13日・議会全員協議会
・観光関係者との懇談会
- 11日・議会運営委員会
・議会定例会
- 14日・広域消防本部指令施設竣工式
- 15日・小学校卒業式
・通年合宿センター修園式
- 16日・消防団年度末総会
- 17日・産業建設常任委員会
- 18日・中学校卒業式
・スタービレッジ運営協議会総会
- 19日・総務常任委員会
- 20日・議会全員協議会
・広報委員会
- 24日・保育園修了式
- 25日・議会定例会
（一般質問）

ご意見・ご感想を議会事務局までお寄せください。また、議会傍聴に足を運んでみてください。各種資料の公開も行っていますのでお気軽に議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局

電話 43-2220

FAX 43-4365

E-mail gikai@vill.achi.nagano.jp



あとがき

明けのない夜はなく過ぎ去らぬ冬もありません。やっと訪れた春ですが、寒さ厳しく、ハウス倒壊など甚大な雪害をもたらした冬でした。昨年春の凍霜害、秋の台風による水害と自然の仕打ちの過酷さを思い知らされた一年でした。村民の安全安心を第一に住民主体で村づくりを進める立場を掲げての熊谷村長にとって初の新年度予算がスタート。村長が代わるという産みの苦しみを乗り越えての新しい村政であり多くの期待を胸に歩んでほしいものです。時代を戦前に戻すような安倍政権の危険な動きを見るにつけ、満蒙開拓平和祈念館の建つ村として全国に平和の尊さを発信することも重要です。

委員長 原 利正